

研究発表

研究発表 A (B255) 3日(土) 9:30~12:30

司会 垣内幸夫 (京都教育大学)・本多佐保美 (千葉大学)

- A-1 京都市における昭和初期の初等音楽教育に関する一考察・・・・・・・・・・・・・・・・(1)
—『京都小学唱歌』の分析を通して—
京都教育大学大学院 寒川 穂波
- 2 近代新語辞典にみる音楽鑑賞関連用語・・・・・・・・・・・・・・・・(2)
—流行語としての〈音楽を聴くこと〉の輪郭—
北海道教育大学 寺田 貴雄
- 3 1940年代の小学校簡易楽器指導の展開・・・・・・・・・・・・・・・・(3)
—モノや音から探る戦時・戦後期の音楽科教育実践—
和歌山大学 菅 道子
- 4 バイエル教則本初版とペーターズ版のスラーの異同について・・・・・・・・(4)
奈良教育大学 安田 寛・帝塚山大学 村尾 忠廣
大阪芸術大学大学院 多田 純一・奈良保育学院 長尾 智絵
- 5 ライプツィヒ時代の島崎赤太郎・・・・・・・・・・・・・・・・(5)
—ライプツィヒ音大にのこされた資料を中心に—
広島大学大学院 小野 亮祐
- 6 ドイツカリキュラム改革期における Alt の音楽聴取観・・・・・・・・(6)
—*Didaktik der Musik* を中心に—
広島大学大学院 工藤 千晶

研究発表 B (B251) 3日(土) 9:30~12:30

司会 有本真紀 (立教大学)・長島真人 (鳴門教育大学)

- B-1 20世紀初期の米国におけるリズムバンド・おもちゃのオーケストラ・・・・・・・・(7)
—1930年までの出版物の検討を中心として—
広島大学 武内 裕明
- 2 昭和初期の学校音楽教育関係者と幼児期の音楽教育・・・・・・・・(8)
東京芸術大学大学院・日本学術振興会 大沼 寛子
- 3 MacPherson の音楽鑑賞教育観
—*Aural Culture based upon Musical Appreciation* の検討をとおして—・・・・・・・・(9)
広島大学大学院 小林 美貴子
- 4 イギリスにおける GCSE 音楽の導入期に関する研究・・・・・・・・(10)
—TES に掲載された記事の検討をとおして—
広島大学大学院 松下 友紀
- 5 アメリカの音楽科教科書 *Silver Burdett Making Music* (2008) に・・・・・・・・(11)
おける「音色」要素の指導内容
広島大学大学院 矢野 沙織
- 6 *Music Educators Journal* にみられる米国の多文化音楽教育の展開・・・・・・・・(12)
—1995年から2008年までの記事を中心に—
広島大学大学院 川村 恭子

研究発表 C (B351) 3日(土) 9:30~12:30

司会 小川容子 (鳥取大学)・奥 忍 (京都嵯峨芸術大学大学院)

- C-1 音高認知機能と音高に関する音楽能力との関連性に関する研究・・・ (13)
—大学生へのエクササイズアプローチ音楽教育プログラム実践をもとに—
比治山大学 緒方 満
- 2 ピアノ練習過程における演奏の聴覚的表象と運動的表象の結びつきの変化・・・ (14)
新潟大学大学院 大澤 智恵
- 3 ピアノ演奏時におけるミスタッチ, その後の処理の研究・・・ (15)
—レッスン時における<弾き直し>の事例を通して—
名古屋短期大学 夏目 佳子
- 4 リズムと抑揚の獲得について・・・ (16)
—母子間で交わされた3拍リズム音声の音響的分析による考察—
甲南女子大学 坂井 康子・京都女子大学 岡林 典子
- 5 1歳児向け音楽レッスンに参加する母親の育児意識、母親自身の音楽との関わり方、・・・ (17)
及び音楽レッスンへの期待について
北海道大学 安達 真由美・松田 久美
(株)エルム楽器 岩井 香織・寺田 良紀
- 6 児童の歌唱における内的フィードバックに関する縦断的研究・・・ (18)
—小学生を対象とした歌唱調査の分析を通して—
東京成徳大学 小畑 千尋

研究発表 D (B159) 3日(土) 9:30~12:30

司会 荒川恵子 (京都女子大学)・志民一成 (静岡大学)

- D-1 英国幼児音楽教材の日本への導入とその目的・・・ (19)
—新しい幼児音楽のスタイルをめざして—
浜松学院大学短期大学部 鈴木 敦子
- 2 日韓の幼稚園教育要領における領域「表現」音楽表現の比較・・・ (20)
埼玉純真短期大学 ^ベ ^{ミンギョン}
裴 珉 卿
- 3 幼児の音を“生み出す”行為と“聴く”行為の関係とその意味・・・ (21)
—社会文化的アプローチによる砂遊び場面の検討—
中部大学 香曾我部 琢
- 4 乳幼児期の音素材を用いた表現活動と人間関係の変化・・・ (22)
—乳幼児グループ「さくらんぼ」の実践報告—
共立女子大学 村上 康子
- 5 身体から音の表現へ
—幼稚園における音楽と造形の協同プロジェクトから—・・・ (23)
聖心女子大学 今川 恭子
- 6 太鼓を用いた幼児の音楽表現活動の意味・・・ (24)
—オルフの考え方に基づくモデル集を手がかりにした実践事例の検討を通して—
日本女子大学大学院・浜松学院大学短期大学部 永岡 和香子

研究発表 E (B155) 3日(土) 9:30~12:30

司会 時得紀子(上越教育大学)・南 曜子(金城学院大学)

- E-1 母親の胎児期・乳幼児期の子どもへの音楽的関わりと子どもの様子の特徴的傾向(1)……………(25)
—アンケート調査による母親の胎児への音楽的関わり—
東京福祉大学 岡村 弘・関島 英子
- 2 保育者養成における表現技術向上に向けての取り組み……………(26)
—幼稚園児との表現活動の実践を通して—
別府大学短期大学部 仲嶺 まり子
- 3 保育者に求められる音楽的専門性について……………(27)
—ポール・ノードフの音楽的資源とその使い方—
東京福祉大学 田崎 教子
- 4 幼児の創造的な音楽活動の開発に関する研究(IV)……………(28)
—“mivurix(ミブリックス)”による事例の分析を通して—
日本女子大学大学院 古山 律子・駒 久美子・味府 美香
日本女子大学 坪能 由紀子
- 5 全校児童で奏でる教材研究……………(29)
—心の教育の歌詞を取り入れた発表曲—
品川区立清水台小学校 平田 千秋
- 6 音楽教員養成における教育実践力の育成……………(30)
—協同学習の理念の可能性—
武庫川女子大学 小松原(野上) 祥子

研究発表 F (B152) 3日(土) 9:30~12:30

司会 今田匡彦(弘前大学)・降矢美彌子(帝京平成大学)

- F-1 音楽科授業における鑑賞経験に関する一考察……………(31)
—高校生を対象とした質問紙調査を中心として—
広島県立黒瀬高等学校 井上 明
- 2 高等学校における読譜指導の向上にむけての研究……………(32)
—合唱の取り組みを通して—
東京都立豊多摩高等学校 藤井 美紗
- 3 コード・ネーム指導における一試案……………(33)
大阪樟蔭女子大学 桶谷 弘美
- 4 サウンドスケープから音ランゲージへ……………(34)
—地球環境を視野に入れた音楽指導の試み—
奈良教育大学附属中学校 川合 利幸
- 5 音楽科教員に求められるIT時代のオーディオリテラシーについて……………(35)
—OSI参照モデルに基づく体系化と鹿児島県下の実態調査—
鹿児島国際大学 井手口 彰典
- 6 レベル別ピアノ伴奏つき視唱課題の構造について……………(36)
—Noël GALLONによるSolfège du Léopold-Bellan用課題の分析より—
東京女子体育大学 柳田 憲一

研究発表G (B157) 3日(土) 9:30~12:30

司会 篠原秀夫(金沢大学)・尾藤弥生(北海道教育大学)

- G-1 小学校音楽科において1年目教師はどのような困難に遭遇するのか.....(37)
湊川短期大学 高見 仁志
- 2 教員選考時の問題および課題の分析—小学校「教採」内容の考察をもとに.....(38)
中部大学 斎藤 真
- 3 小学校音楽科における「言語活動の充実」の具体化に関する一考察.....(39)
植草学園大学 高木 夏奈子
- 4 音楽科教育における言語活動に関する研究(1).....(40)
—「コミュニケーションや感性・情緒の基盤」の観点から—
山口大学 高橋 雅子
- 5 小学校音楽科における共通事項をおさえた指導の在り方.....(41)
—知覚に関する用語の捉えの曖昧性をふまえた授業改善—
新潟市立五十嵐小学校 中村 香
- 6 みんなが楽しく学習できる音楽科の授業のあり方.....(42)
—「楽しさ」を共有する授業づくり—
防府市立中関小学校 田村 雅一・山口大学 高橋 雅子

研究発表H (B257) 3日(土) 9:30~12:30

司会 桂 博章(秋田大学)・笹野恵理子(立命館大学)

- H-1 「発声の仕組み」を基軸にした音楽科授業プラン開発.....(43)
高知大学大学院 加藤 美絵子・高知大学 山中 文
- 2 音楽科教師の価値体系の形成について(2).....(44)
—小学校教諭の音楽観・指導観に関する記述回答の分析を通して—
就実大学 古山 典子・上野学園大学 瀧川 淳
- 3 内発的動機づけをめざす教材開発(2).....(45)
—子どもの身近な音楽を起点とした授業マネジメントに関する研究—
東京学芸大学大学院・千葉市立西の谷小学校 中山 由美
- 4 子どもを対象にした伝統芸能の教授方法について.....(46)
—東京文化発信プロジェクト「キッズ伝統芸能体験」における能の稽古を例に—
東京芸術大学大学院 田村 にしき
- 5 能における「わざ」の伝承.....(47)
—稽古の場での「わざ」言語に注目して—
くらしき作陽大学 中西 紗織
- 6 佐渡鬼太鼓における伝統芸能伝承の変化.....(48)
新潟大学 森下 修次

研究発表I (B159) 4日(日) 9:00~12:30

司会 安田 寛 (奈良教育大学)・寺田貴雄 (北海道教育大学)

- I-1 戦後日本の学校音楽教育におけるリコーダー指導・・・・・・・・・・・・・・・・ (49)
—昭和30年代における器楽合奏の中心楽器に関する議論に着目して—
東京芸術大学大学院 山中 和佳子
- 2 近代日本における西洋音楽受容の一例 —島田英雄(1881~1943)の遺品調査から—・・・・ (50)
大阪芸術大学短期大学部 (非常勤講師) 平尾 佳子
- 3 師範学校の「増課科目」における音楽教育実践・・・・・・・・・・・・・・・・ (51)
—初等学校教員の教師像をめぐって—
白梅学園短期大学 鈴木 慎一朗
- 4 学校音楽教育におけるNHK全国学校音楽コンクールの影響・・・・・・・・ (52)
—課題曲と教科書の関連を中心にして—
高松市立古高松南小学校 岡橋 智栄美
- 5 「音楽的概念」の指導に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・ (53)
—Silver Burdett社の音楽科教科書の検討を中心として—
東京学芸大学大学院 森 薫
- 6 学習指導要領における「情操」概念の分析・・・・・・・・・・・・・・・・ (54)
総合研究大学院大学 山本由紀子
- 7 感性を育むための音楽授業の取り組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・ (55)
岡崎女子短期大学 小川 宜子・妹尾 美智子

研究発表J (B251) 4日(日) 9:00~12:30

司会 菅 裕 (宮崎大学)・山中 文 (高知大学)

- J-1 宮城道雄の箏曲教育観 —東京音楽学校講師時代に着目して—・・・・ (56)
福山市立鷹取中学校 大森 由紀
- 2 わが国の音楽科教員の専門職性に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・ (57)
—教員免許状更新講習に関する意識調査をとおして—
広島大学大学院 長澤 希
- 3 義務教育の音楽教育に「生活規範としての音楽」の視点を加えよう・・・・ (58)
国立音楽大学 斎藤 博
- 4 異文化共生と音楽教育・・・・・・・・・・・・・・・・ (59)
—浜松における日系ブラジル人の状況からの考察—
浜松学院大学 高久 新吾・浜松学芸高校 宮本賢二郎
- 5 多様な音楽文化を取り入れたカリキュラムによる児童の音楽観の変容・・・・ (60)
—3年間の継続したアンケート調査に基づいて—
鳥取大学附属小学校 梶田 祐子
- 6 CMの理念に基づいたバンドの指導書 *Blueprint for Band*に関する研究・・・・ (61)
—MMCP Synthesis との比較に見る特質—
広島大学大学院 長谷川 諒
- 7 米国の音楽療法士養成教育に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・ (62)
—1990年代から現在までの刊行物にみる養成教育観を中心に—
広島大学大学院 安宅 智子

研究発表 K (B257) 4日(日) 9:00~12:30

司会 安達真由美 (北海道大学)・松永洋介 (岐阜大学)

- K-1 ピアノ演奏におけるウォームアップとクールダウンについて (63)
—その意義の考察と特にクールダウンの効果の基礎研究—
東京女子体育短期大学 山本 学
- 2 ピアノ基礎テクニックの定量化 (64)
—「音の最短値」「先行音から後続音への進行」「指間幅と運指」を分析項目として—
名古屋大学大学院 藤原 一子・名古屋大学 池上 康男
- 3 音楽鑑賞における情動変化時の脳血液動態のパターン (65)
—光トポグラフィによる計測データをもとに—
信州大学 齊藤 忠彦
- 4 鳥取市における心地よい音空間の創出 (66)
—Shopping Street Music の社会実験報告—
島根総合福祉専門学校 中村 奈保
鳥取大学大学院 仙田 真帆・鳥取大学 小川 容子
- 5 表面筋電図を用いた金管楽器演奏時の表情筋の筋活動様相 (67)
—金管楽器の効果的な練習方法の提案—
大阪大学大学院 平野 剛・新潟大学大学院 大澤 智恵
- 6 小学校児童を対象とした音楽適性テスト —歌唱編の開発を中心に— (68)
鳥取大学大学院 仙田 真帆・鳥取大学 小川 容子
- 7 音楽科における批判的思考力に関する一考察 (69)
—高次思考力(higher-order thinking skills)との関連を視点として—
兵庫教育大学 岡本 信一

研究発表 L (B351) 4日(日) 9:00~12:30

司会 今川恭子 (聖心女子大学)・坂井康子 (甲南女子大学)

- L-1 幼児における表現活動の一考察 —音あそびによるアプローチ— (70)
玉川大学大学院 渡邊 結
- 2 本格伴奏と簡易伴奏に対する5歳児の歌唱様相について (71)
鳥取短期大学 羽根田 真弓
- 3 幼児歌曲のリズム分析 —日本語のうたと英語のうた— (72)
ロンドン大学博士課程 疇地 希美
- 4 幼児の声の技能を引き出す歌唱教材の開発 (3) (73)
—子どもの歌唱の分析と教材の有効性の検証—
静岡大学 志民 一成
中村音楽教室 中村かおり
- 5 保育における一斉歌唱活動を再考する (74)
—保育者のとらえと子どもにとっての意味—
静岡大学 石川 眞佐江
- 6 幼児教育における歌唱表現 —保育者に必要な歌唱法— (75)
名古屋女子大学 藤田 桂子
- 7 保育者養成校での音楽技能「声楽」の授業への一考察 (76)
—呼吸法指導を中心として—
小田原女子短期大学 今泉 明美

研究発表 M (B152) 4日(日) 9:00~12:30

司会 国府華子 (愛知教育大学)・山下薫子 (東京芸術大学)

- M-1 「アマチュア・ピアニスト」の活動における動機・継続要因について……………(77)
—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによるインタビュー分析から—
日本女子大学 西本 夏生
- 2 シニアのピアノ学習における既知曲の効果の有無……………(78)
甲南女子大学・園田学園女子大学各非常勤講師 古庵 晶子
- 3 演奏不安によるパフォーマンス低下の生理心理学的検討……………(79)
—ピアノコンクール場면을対象として—
東京大学大学院・日本学術振興会 吉江 路子
東京大学大学院 工藤 和俊・村越 隆之・大築 立志
- 4 演奏家育成のためのヴァイオリン教授法……………(80)
—学習者と教師の観点から—
越後 真理
- 5 ヴァイオリン学習において「歌う」ことが果たす役割……………(81)
—ムジークシュレのレッスン事例をもとに—
東京芸術大学 長谷川 千鶴
- 6 教員養成系大学におけるヴァイオリン指導法の研究……………(82)
—初心者を対象としたアンサンブル活動を通して—
埼玉大学 伊藤 誠

研究発表 N (B157) 4日(日) 9:00~12:30

司会 林 睦 (滋賀大学)・中嶋俊夫 (横浜国立大学)

- N-1 短期大学の初等教育学科学生による地域の小学校における音楽活動の試み……………(83)
—全校児童との関わりを通して—
國學院大學栃木短期大学 早川 富美子
- 2 地域連携における子ども対象コンサートの意義……………(84)
—親子のためのコンサートのアンケートを通して—
東京未来大学 紙屋 信義
- 3 音楽のアウトリーチにおける実施主体と実施先の連携についての研究……………(85)
—小学校との連携を目指して—
名古屋市立大学大学院 梶田 美香
- 4 テレビ会議システムを用いた合唱活動の可能性……………(86)
—離島へき地小規模小学校における実践事例から—
長崎大学 西田 治・藤木 卓・藤本 登・小清水 貴子
- 5 中国における音楽劇教育の現状と今後……………(87)
千葉大学大学院 王 紅・千葉大学 渡部 成哉
- 6 欧州歌劇場におけるオペラ教育部門……………(88)
—データから読む近年の動向とオペラ教育観—
東京大学大学院 大野 はな恵
- 7 音楽祭と社会の関係性について……………(89)
—サイトウ・キネン・フェスティバル松本を事例として—
東京芸術大学大学院・日本学術振興会 小泉 元宏

研究発表 O (B155) 4日(日) 9:00~12:30

司会 菅 道子 (和歌山大学)・牧野淳子 (京都市立芸術大学)

- O-1 幼稚園における音楽体験 一気になる子どもの支援の視点から…………… (90)
関西学院大学 谷村 宏子
- 2 マルチセンソリーアプローチにおける音楽活用実践についての一考察…………… (91)
川崎市立下河原小学校 池田 康子
- 3 知的障がい児・者の発達促進における和太鼓活動の効果…………… (92)
—他者との協調という視点から—
奈良女子大学大学院 水野 恵理子
- 4 特別支援学校における音楽科指導の課題 —質問紙調査の分析をとおして—…………… (93)
大分大学 藤原 志帆
- 5 社会性の回復をめざすダウン症者Aさんの事例…………… (94)
—バリアフリー楽器ヘルマンハーブのレッスンを通して—
京都教育大学・甲南女子大学 山崎 和子
- 6 ハンドベル演奏の研究…………… (95)
—ハンドベルの教育・療法現場へのよりよい導入のために—
金城学院大学 磯部 澄葉・南 曜子
- 7 パーキンソン病認知症患者の音楽療法における発語効果…………… (96)
—6ヶ月間の「ふるさと」歌唱時の音声分析を通して—
宮城教育大学大学院 大久保 はるか・鈴鹿短期大学 佐治 順子

研究発表 P (B255) 4日(日) 9:00~12:30

司会 伊野義博 (新潟大学)・田中多佳子 (京都教育大学)

- P-1 小中9年間を見通す読譜指導に関する一考察…………… (97)
—校種を越えた協働研究の可能性を求めて—
福井大学教職大学院・(福井市明道中学校) 北 典子
- 2 音楽教育研究において潜在的カリキュラム研究とは何か (5)…………… (98)
—学校音楽カリキュラム経験研究—
立命館大学 笹野 恵理子
- 3 日本の音楽における装飾的旋律の一考察…………… (99)
日本福祉大学 中里 南子
- 4 義太夫節の教育的意義についての歴史的研究—『義太夫調査書』の調査から—…………… (100)
東京芸術大学大学院 勝岡 ゆかり
- 5 ガーナ共和国におけるエウエ人の fefehawo (フェフェハオ) (遊び歌)に関する研究…………… (101)
松下 美保
- 6 音楽の視聴によるステレオタイプ的な見方や偏見に関する一考察…………… (102)
秀明大学 桐原 礼
- 7 現代音楽を扱う授業の提案…………… (103)
—ハンガリーの作曲家クルターグ・ジェルジュと武満徹を扱って—
帝京平成大学 降矢 美彌子

共同企画

共同企画Ⅰ ワークショップ (B152) 3日(土) 13:30~15:00

わらべうたであそぶ — 子どもたちとともに — (104)
企画: 広島大学 権藤 敦子
ファシリテーター: 広島わらべうたセンター (空色の家) 高城 敏子

共同企画Ⅱ ラウンドテーブル (B255) 3日(土) 13:30~15:00

サウンド・エデュケーションとサウンドスケープ思想の今後 (105)
弘前大学 今田 匡彦
弘前大学 石出 和也
長崎大学 西田 治
弘前大学大学院 一戸 亮祐

常任理事企画

プロジェクト研究Ⅰ (B257) 3日(土) 13:30~15:00

唱法再考: 今、学校教育現場ですべきことは何か (106)
コーディネーター: 横浜国立大学 小川 昌文
パネリスト: 関西学院大学 吉田 孝
川村学園女子大学 尾見 敦子
東京学芸大学大学院 松井 孝夫
新潟市立東新潟中学校 斎藤 隆

プロジェクト研究Ⅱ (B257) 4日(日) 15:15~16:45

「現代音楽」のゆくえと音楽教育 — その可能性を探る — (1) (107)
パネリスト: 作曲家・即興演奏家 寺内 大輔
作曲家・九州大学大学院教授 中村 滋延
東京学芸大学 中地 雅之
企画・司会・進行: 滋賀大学 杉江 淑子

大会実行委員会企画

基調提案&講演 (B257) 4日(日) 13:30~15:00 (108)

基調提案

小学校学習指導要領・音楽科に示された音符・休符・記号等の知識の習得状況
— 小学校音楽科における学力の一環として —

環太平洋大学 吉富 功修

講演

ハンガリーの音楽教育

Pécs 大学 Illyés Gyula 教育学部元副学部長 Pajor Márta

通訳: 広島国際大学 Szirmai Monika

企画・司会: 広島大学 三村 真弓

ワークショップ (教育学研究科 F101) 4日(日) 15:15~16:45

コダーイの理念に基づいた音楽指導 (109)

Pécs 大学 Illyés Gyula 教育学部元副学部長 Pajor Márta

通訳: 広島国際大学 Szirmai Monika

企画・司会: 広島大学 三村 真弓

40周年記念行事

記念講演 (B257) 3日(土) 15:15~17:15

記念講演Ⅰ

学会40年の歩み

元日本音楽教育学会会長 山本 文茂(東京芸術大学名誉教授)

記念講演Ⅱ

韓国の音楽教育における最近の動向 (110)

韓国音楽教育学会会長 閔 庚勳(韓国教員大学校教授)

通訳: エリザベト音楽大学大学院 金映珠